
「若年女性の婦人科腹腔鏡下手術における新しい簡便な術後恶心・嘔吐(Postoperative nausea and vomiting : PONV)出現因子の探索と制吐剤オンダセトロンの使用の有無によるPONVへの影響についての検討」に関するお知らせ

このたび、当院で産婦人科手術を受けた患者さん情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021年1月1日～2021年8月31日（オンダセトロン未使用患者）

2023年4月1日～2023年12月31日（オンダセトロン使用患者）

の期間に埼玉医科大学病院産婦人科で全身麻酔下の腹腔鏡下手術を受けた50歳未満の女性の婦人科疾患患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

全身麻酔後の術後恶心嘔吐の軽減につながるような新たな検討を行うため

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年11月25日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

診療記録の年齢/性別/身長/体重/バイタル：血圧、脈拍/嗜好/喫煙歴/飲酒歴/既往歴/合併症/術式/麻酔時間/吐き気の有無/制吐剤の使用の有無/使用薬剤情報/等を使用する。

この研究で得られた患者さん情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である相崎邦雄が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

産婦人科の手術を受けた患者さんの診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 麻酔科 相崎 邦雄（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはございません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 麻酔科 相崎 邦雄 (担当者氏名)

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話：049-276-1306 (土日祝日を除く 8:30~17:30)

○研究課題名 若年女性の婦人科腹腔鏡下手術における新しい簡便な術後恶心・嘔吐(Postoperative nausea and vomiting: PONV)出現因子の探索と制吐剤オンドンセトロンの使用の有無によるPONVへの影響についての検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 麻酔科 相崎 邦雄